

光星、青森山田8強 下山学園敗退

高校野球 春季東北大会

第73回春季東北地区高校野球大会は9日開幕し、弘前はるか夢球場と青森市ダイシンベースボールスタジアムで、1回戦6試合を行った。八学光星(青森②)は盛岡大

付(岩手②)に八回コールドで勝利。青森山田(青森①)は鹿角(秋田②)に七回コールド勝ちし、それぞれ準々決勝へ駒を進めた。下山学園は東海大山形(山形②)に五回コールド負けを喫した。

第2日の10日は、八学光星が聖光学院(福島①)、青森山田は花巻東(岩手①)と対戦する。

(小嶋嘉文、大西桂介)

盛岡大付00001000|1
八学光星40030001x|8

(8回コールド)

(盛)須藤、須田一清水

(八)北口一鈴木

▷二塁打 新谷契(八)

▷暴投 北口(八)▷捕逸 鈴木(八)

▷試合時間=2時間3分

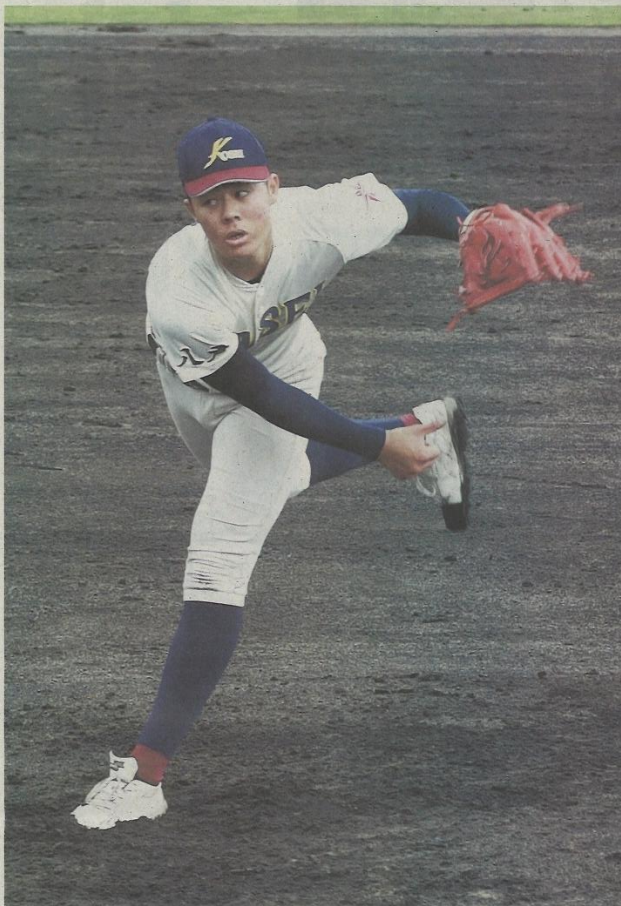
(球審=武藤、塁審=梅田、松山、蛭名)

【評】八学光星は初回2死二、三塁から新谷契の右中間二塁打で先制。満塁で鈴木も2点適時打を放ち計4点を奪った。四回にも3点を追加し、7-1で迎えた八回は安井が押し出し四球を選びコールドが成立した。

先発北口は変化球を軸に組み立て、10三振を奪った。

1回戦

光星北口 10奪三振



ヒーロー

県大会の雪辱果たす力投

頼れるエースが戻って、を浴びて敗れた悔しさを、後半ぐらいたが、勝利にきた。八学光星は北口晃 乗り越え、盛岡大付に對 貢献するピッチングがで 大が8回を完投し、1失 して連打を許さない圧巻 きて良かった」と笑みを 点10奪三振。青森県大会 の投球を披露した。北口 こぼした。 決勝で青森山田に5連打 は「出来としては60点台 初回は制球に苦しんだ

が、その直後の攻撃で4 点の援護を受け、「気持ち 直球を組わ できた」。直球を組わ れているのに気づくと、

変化球を主体とした内容 に変更。チェンジアップ、 スライダーがさき渡り、 三振の山を築いた。 五回一死、三塁のピ ンチでは低めを狙いすぎ て暴投、三塁が生還。だ が、すぐに気持ちを立て 直し、以降は、塁を踏ま せない快投を演じた。

仲井基樹監督は「自信 を取り戻してもらったため に先発を任せたが、北口 が見事に応えてくれた とエースの踏ん張りをた たえた。

次戦の準々決勝では、 甲子園常連の聖光学院が 待ち受ける。昨秋の東北 大会では勝利を飾って いるが、北口は「粘り強 い相手。自分たちの野 球をしっかりやって勝利 したい」と気を引き締め た。

(小嶋嘉文)

【1回戦・盛岡大付】
八学光星6回を投げ、
1失点10奪三振と好投
した八学光星の北口晃
大II青森市ダイシンベ
ースボールスタジアム